

令和5年度府中市立府中第八中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①自分で考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようしたり、他の人と相談して、考えを深めようとすることに肯定的に捉えている生徒の割合が低い。
- ②家庭での学習習慣が身に付いておらず、家庭学習の時間も30分～1時間という生徒が多い。
- ③授業でICT機器の活用ができていているということに関して肯定的に捉えている生徒の割合が低い。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①探究的な学習や体験活動等を通じて生徒同士、あるいは多様な他者と協働しながら行う授業展開を行う必要がある。
- ②生徒の学習意欲を引き出すために、ねらいと学習内容、評価の一体化を図る必要がある。
- ③授業でのICT活用について各教科・教員間で差が見られた。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ①学び合いや話し合いを通じて、学ぶ楽しさやできる喜びを感じられる主体的・対話的で深い学びを実現する。
- ②生徒の興味・関心に応じ、学習課題を設定する学習の個性化を行い、家庭学習において課題解決型の課題に取り組む。
- ③学習の理解を深める手段として、タブレットを活用した自己評価や話し合い活動の充実化を図る。

(2) 目指す授業像

- ①協働的な学びを推進し、生徒の学ぶ喜びと教師の教える楽しさにあふれた「分かる授業」「楽しい授業」を実践する。
- ②家庭と連携した家庭学習の充実を推進する。
- ③ICT機器を利活用した基礎学力の定着を目指し、反復学習や横断的学習、活動等を重視した授業を推進する。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・「読むこと」を扱う単元においては、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする指導を充実する。	美術	・表現領域では、絵画・彫刻やデザイン・工芸を通して、感じたことや考えたことを色や形で表せる技法を学び、自己表現する力を伸ばす。
数学	・数学の学習内容を生活に関連付けて捉えたり理解したりする活動を充実させ、生徒の数学を学ぶ意欲の向上を図る。	技術	・生活や社会を支える技術について理解し、それらの知識や技能を身に付ける活動を充実させ、学ぶ意欲の向上を図る。
社会	・単元を通じた学習課題を設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を基本とする。	家庭	・家庭生活についての基礎的な理解を促し、生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想することで、より良い生活を実現するための実践的な態度と思考を養う。
理科	・基礎・基本を理解させ、分かるから楽しいから自ら学ぶ、という主体的に学ぶ力と探求的に学ぶ力を育成する。	保健体育	・各学年の新体力テストの結果と単元の特性に応じて準備運動、補強運動の工夫をし、継続的に行うことで体力向上を図る。
音楽	・表現を言語化し伝える力を伸ばすことで、音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合い主体的に表現する力を育む。	外国語	・「話すこと（やりとり）」を強化する活動や取り組みを充実させ、自分の考えをまとめたり、表現したりする力を伸ばしていく。

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

学習の理解を深める手段として、タブレットを活用した自己評価や話し合い活動の充実化を図る。また、eライブラリーを活用した家庭学習の充実を図る。